

免許状教科	中学校1種(社会)・高等学校1種(地理・公民・商業)			
科目名	<b>心身の発達と学習</b>	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	<b>Educational psychology</b>	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	もり かずひこ	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	森 和彦	修得単位	2単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	授業用の素敵なテキストを編集して作る。			
到達目標	児童・生徒が学ぶ過程についての理論と教授方法, 成長・発達についての知識, 教育現場で起こりがちな問題について理解し, それぞれについて解説・説明できる。			
授業概要	人が教育を受けて学習・成長するには, どの年齢・どの発達段階に/誰と/何を/どのような環境で学ぶのかなど, 多くの要素が関わる。この科目では受講生それぞれが, 「人の教育」や「人が成長・発達していく」こと等に関わる発達心理学と学習心理学の基礎知識を身につけ, 今後の授業の計画や学級運営に活かすことができるようになることを目的に, 教育・学習に関わる諸理論や教育現場周辺で起こりやすい困難について概観し説明する。			
授業計画				
第1回	第1章: 次世代にどんな能力が必要か? 1) 批判的思考力			
第2回	2) 対人関係管理能力			
第3回	3) 自律的活動能力			
第4回	第2章: 発達障碍の理解			
第5回	第3章: 教育の核としてのコミュニケーション 1) ヒトの関わり合いの発達			
第6回	2) 行動学的神経科学の視点からコミュニケーションを考える			
第7回	3) 相互主体性の発達視点から考える			
第8回	第4章: 青年期の特徴と発達課題について			
第9回	第5章: 学習の心理学的理解 1) 学習意欲の発達とコーチングについて			
第10回	2) 学習のメカニズム			
第11回	3) 学習環境の設計			
第12回	第6章: 授業方法と説明の方法 1) 授業方法			
第13回	2) 説明の方法			
第14回	第7章: 生徒の理解と教育評価について			
第15回	第8章: 教員が陥りやすい落とし穴について			
第16回	定期試験 : 自ら編集したこの授業用の教科書の提出			
授業時間外の学習	シラバスに基づいて内容を推測し, 必ず予習(仮の教科書作りと考えてください)してください。これは受講時の理解, 受講時に質問できるか否かに深く関わります。また授業直後, 受講分の内容をワード等で自作の教科書に書き込みながら作成してください。分かり易い表現など内容によっては予習復習合わせて授業時間の3倍の時間が必要になるときもありますが, 授業日その日のうちに編集(復習と予習)するのがポイント。			
履修条件 受講のルール 構え方	中学校, 高等学校の教員になることを前提に, 教育心理学上の必須情報を授業内外において積極的に収集し, 自分に理解可能な(教育現場で使える)形に整理するつもりで授業に臨むこと。やむをえず欠席した受講内容は自分の責任で確保できるように準備・合法的に手配しておく必要がある。口頭での質問よりも文章化した方が質問しやすい学生のためにシャトルカードを提供するので活用して欲しい。			
テキスト	既成のテキストはありません。授業用テキストは受講しながら自分で作成してください。			
参考文献・資料	適宜, 指示します。授業用資料はポータルサイトからダウンロードし, 紙に印刷または随時書き込み可能なタブレットに移植して受講時に持ち込んでください。			

成績評価の方法	<p>この授業に適したテキストを編集作成し、提出テキスト事前チェックリストとともに電子ファイル（PDF）で提出していただきます。A4横書き縦置き左右開きの紐綴じの体裁となります（厳守）。ワープロソフトによる印字以外にも手書きの図挿入も可です。①色がついていないと分からない箇所や重要な箇所はカラーで表現してください。②図表や参考書などの引用は必ず引用文献、出典を各章ごとに明記すること。③カメラで授業中のスクリーンや他のテキストを撮影した映像はテキストにそのまま使用できません。必ず自分で再構成しなくてはなりません。インターネットからダウンロードした図表はその引用個所で出典を明記してください。④インターネットでダウンロードした文章や既存の教科書のページをコピーしてそのまま使うと失格になる可能性があります。この場合、参考文献や参考アドレスを明記し、自分の言葉に置き換えてください。⑤配付した資料や自分で集めた図表資料は再構成してテキスト上で使用します。付録・イラストをつけても可。⑥各章ごとに必ず改ページしてください。テキストですので巻頭言、頁付きの目次、あとがき、重要な用語の索引（当該箇所とリンクさせておくこと）は加点対象です。評価基準は以上の条件を遵守した上で、以下の通り。各章毎に採点します。必ずPDF形式で出力し、チェックリストに基づいて①から⑥までの条件を満たしているか確認してから提出してください。なお、テキストの情報容量はどんなに大きくても9,000kb以下になるように、サイズや空白の調整で工夫してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なアイテムや説明が授業通りに挙げられている。（3点）</li> <li>・わかりやすい解説や例がある。（1点）</li> <li>・内容の説明として必須の、そして発展的内容の図表が載せられている。（2点）</li> <li>・参考引用文献が各章ごとに記載されている。（1点）</li> <li>・あらたに発展的に自分で調べた専門的内容がある。（1点）</li> <li>・きれいで丁寧なレイアウトや文字などのサイズ（1点）</li> <li>・まとまりがあって授業に沿った見やすい構成。（1点）</li> <li>・誤字、脱字、印刷のかすれ、色むら、間違い箇所があれば、各々について減点（-2点）</li> <li>・上記①～⑥までの条件に違反、または合わない箇所各々について減点（-5点）</li> </ul> <p>なお、一つの章が丸ごと抜け落ちている場合はその章ごとに（-30点）の減点とします。各章10点満点で合計80点（巻頭言、頁付きの目次、あとがき、重要な用語の索引が適切であれば、20点まで加点する。）</p> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	授業時間直後から授業を行った教室または非常勤講師室にて実施
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	<p>履修生は各教科書出版会社の新しい教育心理学テキスト主任編集担当者とお考え下さい。他社（他者）と異なるオリジナリティ、見やすい、分かり易い教科書作りは販売（成績評価）に関わります。よく売れるような編集方針に基づいて、授業時間外や受講時に自分が理解可能な情報を積極的に入手し、編集に役立ててください。制約条件はこの授業に特化した教科書でなければいけません。もちろん授業では説明がなかった関係内容を付加することは他出版社に勝つためには営業上必須です。</p>